



U-15 ボクシング実行委員会

大会の趣旨とルール

【U-15 ボクシング大会趣旨】

小中学生のボクシング競技人口の増加傾向という現状を踏まえ、アマチュア・プロを問わないボクシングの底辺拡大と選手の育成（特に防御技術の向上）、そして選手のみならず指導者なども含めた競技関係者全体の意識の向上を図ることを目的とする。競技中は健康管理と選手の育成に重点を置き、徹底した早期レフェリーストップと厳格な反則注意を行う。

【U-15 ボクシングルール】

2015年2月改訂

1. 採点方法

全ての試合で10ポイントマストシステムを採用。

1ラウンド中に2度のダウン、もしくは1試合中2度のダウンでTKOとする。

*テンポイントマストシステムで原則として10-10はつけていけない。

*ウェイトオーバーもしくはマイナスの選手がワンマッチ（2.5キロ差以内）の試合において勝利した場合、U-15のチャンピオンとして認定しない

2. 反則行為

反則の注意を行う場合は「ストップ」をかけてスーパーバイザー及び選手に分かるようにジェスチャーや言葉で示す。

悪質な反則行為に対しては、レフェリーは即座に警告または失格を宣告する。

※主な反則行為

ストップ後・ゴング後の加撃、ベルトライン以下、背面、後頭部への加撃、ナックルパート以外による加撃（ヘッドバッティング、オープンブロー、エルボーブロー、サミングなど）、レスリング行為、相手を押すこと、ラウンド中の攻撃的・挑発的な発言、レフェリーの指示に従わないことなど。

3. グローブ

小学生：37.5キロ級以下は10オンス、40キロ級以上は12オンス

中学生：52.5キロ級以下は12オンス、55キロ級以上は14オンス

4. 試合時間

小学生の部：1分×3ラウンド、インターバル1分間

中学生の部：1.5分×3ラウンド、インターバル1分間

5. バンテージ

中学生はアマチュア規定に準じてアマチュア試合用バンテージのみ使用可能とする。小学生はナックルガード（拳サポーター）の使用を許可する（メーカーは特に指定しない）。

バンテージはウイニング社製日連検定品VL-Yを使用すること。（中学生以下用）

但し、拳が大きくユース用では不適切と思われる場合は高校生・大学生・

社会人用のVL-Fも準備し検診・計量後大会審判長に申し出て判断を仰ぐこと。

*ウイニング社製日連検定品VL-Y(中学生以下用)以外のバンテージ(高校生・大学生・社会人用)を使用する際はU-15実行委員に確認・相談する事。

6. マウスピース

赤系統のマウスピースの使用は禁止する。（口内出血が判りにくい為）

（オレンジ・ピンク・赤など） 白か透明が望ましい。

7. 服装など

無地で袖のない上着の上に胸部保護パッドを着用し、カッププロテクターの上からトランクスを履く。ベルトラインが識別できること。（へそ出しの服装は禁止）

中学生女子は胸部保護パッドとチェストガードの両方の着用を義務とする。女子の下腹部保護用具としては女性用ローブローガードが望ましいが、男子同様のカッププロテクターも可能とする。また女子はネット着用後ヘッドギアをつける

ランニングまたはノースリーブとトランクスは無地で、柄はラインのみに限定する。

計量時に試合着を計量係員に提示すること。服装などに違反がある者は失格とする。

禁止項目

- ・衣類メーカー名以外に選手名・所属・その他の文字の記載
- ・股のない・極端に長い・スリットの入ったトランクス
- ・ランニング、トランクス、シューズへの過度の装飾
- ・染髪、長髪（女子の場合はゴムなどで束ねれば可）
- ・刺青

8. セCOND

セCONDは、3名まで可（3名のうち2名までがリングに上がることができ、2名のうち1名がリングロープ内に入ることが許されます）。

椅子に座った状態で試合中に指示を出すことが可。（暴言や批判する言葉は絶対に行わない）

出場選手の親も可とする。（ただし、JBC発行のスタッフライセンス所持者のみ）

服装についても選手の模範となることを心掛け、大会運営者から注意があった場合はそれに従うこと。（ジム名・企業名等の入っていないもの）

*セCONDが規則に違反したときは注意や警告を受け、または失格となるが、その為にボクサーも注意や警告を受け失格になることもある。

※セコンドの主な反則行為

ラウンド中のボクサーへの指示や激励、相手選手・審判員に対する暴言、許可されていない道具・液体・薬品の使用（ワセリンは使用可）、リングを叩くこと、プロのジム名や協賛企業名が入ったものを使用および着用することなど。

・セコンドはその役割にふさわしい服装で臨むこと(サンダル・スリッパ・ジーパン等不可)

9. 担当コーチ・・・担当コーチは常に選手の体重と体調を管理すること。試合の際は選手に同伴し、セコンドに就けない場合も、常に選手の目の届くところにいること。事情により同伴できない場合は、信頼できる代理人に同伴を依頼すること。責任者の同伴のない選手は失格とする。

10 健康診断書について

申し込み時の健康診断書は受診した日より1年間は有効。

*ただし、その間体調に変化を感じた場合再度検診しU-15 実行委員会に報告する事。

11. 階級とグローブ

小学生の部（4年生から6年生まで）		
階級名	体重	グローブ
27.5 キロ級	25.0 * _□ 超過 27.5 * _□ まで	10 オンス
30.0 キロ級	27.5 * _□ 超過 30.0 * _□ まで	
32.5 キロ級	30.0 * _□ 超過 32.5 * _□ まで	
35.0 キロ級	32.5 * _□ 超過 35.0 * _□ まで	
37.5 キロ級	35.0 * _□ 超過 37.5 * _□ まで	
40.0 キロ級	37.5 * _□ 超過 40.0 * _□ まで	12 オンス
42.5 キロ級	40.0 * _□ 超過 42.5 * _□ まで	
45.0 キロ級	42.5 * _□ 超過 45.0 * _□ まで	
47.5 キロ級	45.0 * _□ 超過 47.5 * _□ まで	
50.0 キロ級	47.5 * _□ 超過 50.0 * _□ まで	
52.5 キロ級	50.0 * _□ 超過 52.5 * _□ まで	14 オンス
55.0 キロ級	52.5 * _□ 超過 55.0 * _□ まで	

中学生の部（1年生から3年生まで）		
階級名	体重	グローブ
32.5 キロ級	30.0 * _□ 超過 32.5 * _□ まで	12 オンス
35.0 キロ級	32.5 * _□ 超過 35.0 * _□ まで	
37.5 キロ級	35.0 * _□ 超過 37.5 * _□ まで	
40.0 キロ級	37.5 * _□ 超過 40.0 * _□ まで	
42.5 キロ級	40.0 * _□ 超過 42.5 * _□ まで	
45.0 キロ級	42.5 * _□ 超過 45.0 * _□ まで	14 オンス
47.5 キロ級	45.0 * _□ 超過 47.5 * _□ まで	
50.0 キロ級	47.5 * _□ 超過 50.0 * _□ まで	
52.5 キロ級	50.0 * _□ 超過 52.5 * _□ まで	
55.0 キロ級	52.5 * _□ 超過 55.0 * _□ まで	
57.5 キロ級	55.0 * _□ 超過 57.5 * _□ まで	14 オンス
60.0 キロ級	57.5 * _□ 超過 60.0 * _□ まで	
63.0 キロ級	60.0 * _□ 超過 63.0 * _□ まで	
66.0 キロ級	63.0 * _□ 超過 66.0 * _□ まで	
70.0 キロ級	66.0 * _□ 超過 70.0 * _□ まで	

U-15 ボクサー担当コーチおよび保護者の方へ

※登録に際し、必ずご確認ください。

【健康管理上の注意点】

(1)減量について

U-15 ボクシング大会出場選手の体は成長段階にありますので、選手の今後の発育を考え減量を行わないことを強く推奨します。小学生の減量は禁止とします。

計量失格の場合は原則としてその試合は中止となります。

地区により若干異なりますが、予選大会は5月上旬から7月下旬にかけて、全国大会は9月11日に行います。選手は成長段階にあるので、担当コーチは選手の適正体重を把握し、減量の必要のない階級で選手を登録させてください。

選手の成長により登録した階級へ出場が困難な場合は、減量をさせずに U-15 ボクシング実行委員会へご連絡下さい。

(2)食事について

試合前だからといって急に食事内容を変えることは体調を崩すことにつながります。

サプリメントなどに頼らず、一般的な食事を取るように心がけて下さい。選手が計量後に過度の飲食をしないよう、担当コーチは責任を持って管理してください。

(3)練習中の注意について

特に夏場の練習では熱中症に備えて水分を十分に取り、心拍数が160を超えるような練習や野外での長時間の練習は行わないで下さい。

(4)実戦練習（スパーリング等）について

選手の体は成長段階にありますので、頭部に衝撃を与えるスパーリング等の実戦練習は極力避けて下さい。

本大会前は夏場ということも考慮し、スパーリングを行う際は特に細心の注意が必要です。大会の一ヶ月前からのスパーリングは1週間に1日から2日までとし、1日につき小学生は1分×2ラウンド、中学生は1.5分×2ラウンドまでとして下さい。連日のスパーリングは避けて下さい。マスボクシングについても、防具を必ず使用して下さい。

バッティングやストップ後の加撃が散見されますので、特に注意して指導をお願いします。

反則則に対しては厳しく減点し、悪質なものは即失格とする場合もあります。

(5)眼科検診（眼底検査）の推奨

ボクシングに限らず、コンタクトスポーツでは目のケガが起こりやすいので、U-15 ボクシング大会出場選手には1年に1回の眼底検査を推奨します。

(6)他ボクシング大会への出場

(社)アマチュアボクシング連盟競技規定では、KO および TKO 負けとなった者は4週間の出場停止となります。本大会および予選大会の4週間以内の他ボクシング大会への出場することは、このルールに抵触する可能性がありますのでご注意ください。同様に、本大会においてKO および TKO 負けとなった者は、大会後4週間以内に行われるボクシング大会への参加は禁止とします。

(7) 健康診断書について

申し込み時の健康診断書は受診した日より1年間は有効。

*ただし、その間体調に変化を感じた場合再度検診しU-15 実行委員会に報告する事。

【用具について】

*大会主催者が用意するもの

グローブ、ヘッドギア、胸部保護パッド、カッププロテクター

*各自が用意するもの

マウスピース、カッププロテクター（Mサイズ以上を使用する場合）、シューズ、トランクス、袖のない上着、バンテージ

【マナー】

(1)ノーガードなどで対戦相手を挑発する選手、レフェリーに対し抗議する選手が散見されますので、担当コーチは試合前後の握手、審判員や観客席への挨拶など、選手およびセコンドの試合中のマナーを徹底して指導してください。

(2)観客席からの過激な声援、相手選手に対する野次は控えてください。

(3)レフェリーの判断や試合結果に関しては異議を申し立てないでください。

(4)セコンドについても刺青、サンダル、金属類など、セコンドの服装などの乱れも目立ちますので、ジムでの指導徹底をお願いします。

平成27年度よりルールが変わった点

① 女子の髪型についてはネット着用を義務づける。

② セコンドはJBC発行のセコンドライセンス所持者であれば親も許可する。

③ 名義貸し防止のためセコンドの申請書提出を義務付ける。

④ セコンドはIDカードを首からかける。

以上